

WEEKLY REPORT

No. 1020



国際ロータリー第 2530 地区 郡山アーバンロータリークラブ

国際ロータリー第2530地区ガバナー 平井 義郎
郡山アーバンロータリークラブ 会長 白岩 邦俊
幹事 松川 義行



インスピレーションに
なろう

第 18 回 例会 H.30.11.28 (水) ☀

- ▶ 開会点鐘 ロータリー歌斉唱「それでこそロータリー」 四つのテスト唱和 橋本弘幸さん
▶ ゲスト 佐藤壮一郎様(二本松あだたらRC) 野地トヨ子様(二本松RC) 仁 香芳様(米山記念奨学生)

会長挨拶

白岩 邦俊 会長

11 月 17 日(土)に福島県立郡山聴覚支援学校の 50 周年記念式典に参加いたしました。生徒さんが非常に元気で、良い教育を行っていると感じました。

11 月 23・24 日に地区大会がありました。23 日の会長・幹事会と地区リーダー研修セミナーに参加し、地区は啓発活動に力を入れていると感じました。ポリオに関しては、国際ロータリー 100 周年で完結する予定でしたが、最後の詰めのため、資金援助もよろしくと言われました。これからは環境問題も考えていく動きがあるようです。世界的な流れの中の活動であることを感じました。

佐藤 壮一郎 地区会員増強・拡大・情報委員会委員 挨拶



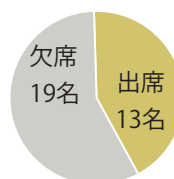
24 日の地区大会では鈴木尚子様と一緒に壇上で表彰されました。地区会員増強委員会委員 10 名が、65 クラブを手分けして各クラブにメイクアップして、会員増強をお願いするようにと平井義郎ガバナーから申し付かっており、今日は 2 クラブ目です。

平井ガバナーは地区目標の中で、会員基盤の維持と増強を第一の目標としており、3 点を掲げております。まず地区会員数を 2530 名にしたいということです。205 名の増強を各クラブに頑張ってくださいということです。次に現会員の退会防止で、例会に出席して良かった、楽しかったと感じ、また社員の皆さんから例会に出席してくださいと言われるようなクラブを作りたいということです。そしてメイクアップを活用して、地区平均の出席率を 90%にして欲しいということです。地区全体の実績は 11 月 6 日現在で 51 名の増員、退会者は 15 名、出席率は 8 月の集計で 78.3%です。

ロータリーは奉仕をしながら、地域の人たちに幸せを感じてもらうことが、まさに奉仕の理想ではないかと私は思います。平井ガバナーもそのように言っておりますので、会員増強をよろしく願いいたします。

出席報告

津野 順子 副委員長



会 員 数 32名
出 席 率 40.63%
前回修正率 100%

メイクアップ: 白岩邦俊会長 松川義行幹事 味戸誠一郎さん
采女真弓さん 小口憲太郎さん 鈴木かおるさん 鈴木尚子様
藤田弘美さん

スマイルBOX 報告

津野 順子 副委員長

- 😊 佐藤 壮一郎様 ▶メイクアップさせていただきます。
😊 野地トヨ子様 ▶米山奨学生の卓話の機会をいただきありがとうございます。
😊 岩山慎一 ▶米山奨学生のスピーチを期待してます。
😊 藤田弘美 ▶カウンセラーの野地様ようこそ。仁さんの卓話を楽しみにしております。
😊 鈴木かおる ▶米山奨学生の仁さんのご出席ありがとうございます。
😊 味戸誠一郎 😊 橋本弘幸 😊 宗形千鶴 😊 石堂勝壽

幹事報告

松川 義行 幹事

次回例会に中央区分インターシティミーティングのPRのために飯島成一ガバナー補佐が来られるそうです。

プログラム/ゲスト卓話

ゲスト紹介

藤田 弘美 米山記念奨学会委員長



米山記念奨学生の中国出身の仁香芳さんは国際ビジネス公務員大学校観光課に在学されています。長いスピーチは初めてだそうです。カウンセラーの野地様にもおいでいただきました。野地様は 2 年続けてカウンセラーをされています。

例会日 水曜日12:30 例会場 ホテルハマツ郡山市虎丸町3-18 tel.024-935-1111

事務所 〒963-8001 郡山市大町1-2-17 大一ビル1F tel.024-923-0847 fax.024-939-5678

HP <http://k-urb.ri2530.jp>



プログラム／ゲスト卓話

米山カウンセラー挨拶

野地トヨ子様



ます。

仁さんと一緒に郡山アーバン RC にメイクアップさせていただきました。このような機会は仁さんにとって勉強にもなり、さらに大きくなるチャンスであると思います。今日のために原稿を頑張って作っていましたので、最後まで聞いていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

米山記念奨学生 仁 香芳様



皆さんこんにちは。私は国際ビジネス公務員大学で学んでいます。中国の湖北省に生まれました。私が生まれた時は、中国は一人っ子政策でした。兄弟がいなくてすごく寂しくて、何度もお母さんに兄弟が欲しいと言いましたが、お母さんは「あなた一人でも育てるのが大変です」と言いました。留学させて欲しいと言った時には「もう一人子供がいたらいいのに」と言われました。

私は小さい頃から外国に留学したいと思っていましたが、留学先は日本は考えていませんでした。高校の時に、東京の日本語学校の方が来て、日本に留学する講座がありました。自分が知らない日本、間違っていた日本のことを聞くうちに、日本に興味を持ちました。もちろん歴史と政治により心配がありましたが、それより日本は先進国であり、マナーの国、安全性の高い国として、いろいろな場面で勉強するやりがいがあると思いました。私は 18 歳でしたので、自分で自分の人生を決めようと考えました。両親に日本への留学を相談しましたが、両親は少し反対でした。一人で日本に行けるかどうかの心配もありました。両親を安心させるためにビザの準備や学校の申請書類などを自分で行い、一人でも行けることを証明できると思いました。やっと出発の日になり、緊張と不安を抱えながら、あこがれの留学生活が始まりました。

最初は日本語が分からなくて、シャンプーとコンディショナーを間違えたり、電車で逆の方面に行ってしまったたり、たくさんの失敗があって大変でした。その中で、日本と中国との違いが見えました。まず交通の違いで、日本の運転席は右側で、左側通行です。信号は赤になると、直進も左折もできません。狭い道でも信号が設置してあります。中国は運転席が左側で、右側通行です。信号は広い道にしか設置してありません。

それから日本で不思議に思ったことは、道にゴミ箱がないことです。ゴミの分別がすごく細かいのに、道にはゴミ箱は置いていません。中国では数百メートルごとにゴミ箱が置いてあります。もしゴミ箱がなければ、中国政府は市民への思いやりがないと評価されてしまいます。日本の道にゴミ箱がない理由をネットで調べてみて、テロ対策、家庭ゴミを捨てる人が増える、野生動物のえさ場になるなどのことが分かりました。

一方、道にゴミ箱がないのにすごくきれいだというのは、日本国民のモラルが高いからではないでしょうか。きちんとゴミ分類のルールを守っている日本人の良さのひとつが分かりました。国の違い、異文化の違いを理解して、尊重することが大切だと思います。

1 年半前に、郡山にある国際ビジネス公務員大学に進学しました。これからの生活や経済状況や学業を考え、自分で留学のための生活費を少し稼ぐことにしました。留学して 2 年目から、中華レストランでアルバイトをしています。初めてなので、接客の仕方や料理名など知らないことが多くて大変でした。この中でも日本と中国とのいろいろな違いを感じました。日本では元気な挨拶と素敵な笑顔での接客が良い印象を与えます。中国ではそれほど求められていません。日本では「お客様は神様」と言われますが、中国では客と店員が対等の関係です。中国ではお店の従業員はあくまで個人として扱われています。日本のサービスを与える側の役目を全うしようとする精神が、日本のサービス全般の評価につながっていると言えます。このような日本のサービスを勉強するチャンスがあって、本当に日本に留学して良かったですと思います。

今年、米山記念奨学生になって、奨学金制度と日本の素晴らしさを知ることができ、幸せになりました。今年の研修旅行に参加させていただき、米山梅吉先生の米山記念奨学金制度のことをよく知りました。そして二本松 RC でカウンセラーの野地さんと出会いました。初めて着物を着てロータリークラブの納涼会に出席したり、大きい温泉の露天風呂にも入りました。日本三大提灯祭のひとつの二本松提灯祭を見ることができました。いろいろな体験ができるのは、日本のお父さん、お母さんがいるお陰です。学校生活でもたくさん面倒を見てくれました。感謝の気持ちは言葉では表わせません。今日このような素晴らしい機会をいただき、自分自身が成長していきたいと思います。慣れない話を聞いていただき本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。



ロータリー財団寄付者

■ 味戸誠一郎 ■ 橋本弘幸 ■ 鈴木かおる

米山記念奨学会寄付者

■ 津野順子 ■ 橋本弘幸 ■ 味戸誠一郎 ■ 白岩邦俊

ポリオ寄付者

■ 橋本弘幸